

未来への道

菊川市内小学校

新井さん

「袋はおつけしますか。」

何を言われているのか分からず、「はい」と答えた。

シートを見ると、袋三田と書いてあった。このことをきっかけに、レジ袋がなぜ有料なのかを調べてみることにした。

なんと、日本のプラスチック容器の廃棄量は世界二位である。この情報だけを見ると、レジ袋というゴミを減らすために有料化されていると感じるだろう。しかし、レジ袋をマイバックに変えたことで、減らせるプラスチックゴミの量は二%程度と、それだけで環境問題を解くことができるほどの効果は得られない。

環境省の調査では、レジ袋が有料化したことでマイバックを持ち歩くようになったと回答した人が五十一・九%、プラスチックごみ問題への関心が高まり、マイバックを進んで使うようになったと回答した人が七十五・一%いた。

つまり、レジ袋の有料化はゴミを減らすだけでなく、人々がプラスチックゴミの問題を意識することに、大きな役割を果たしていると言

える。実際、レジ袋が有料化した年のプラスチックゴミの量は前年と比べ三%削減していた。

このことをふまえ、私には何ができるのだろうと考えてみた。先ほどのビニール袋有料化の様に、直接的にゴミを減らすだけでなく、人々の意識を変える様なことは何かできないだろうか。

子供だからこそできることの一つが習慣化することだ。子供のうちからマイバックを持つ、水筒を持ち歩くということ徹底することで、将来的にはそれが当たり前の中になる。

もう一つは、大人に対するアピールだ。ポイ捨てが特に多いのは、車からの投げ捨てだと聞いたことがある。海岸でプラスチックゴミを拾うのもいいが、あえて道路沿いの道のゴミを拾ってみてはどうだろう。きっと子供達がゴミを拾っている姿を見た大人は、ポイ捨てをしにくくなるだろう。さらに、ゴミ拾いを経験した子供達は、ポイ捨てをしない大人になるだろう。

今まで人間は、自分達の生活を便利で豊かにするために様々な努力をしてきた。プラスチックもその一つだ。それを使ってきたことは悪いことではない。ただ、それが地球環境や人間の未来をおびやかすこと知った今、今の自分が便利で楽をする道を選ぶのか、地球環境や人間以外の動物、そして私達の子孫を幸せにする未来に続く道を選ぶのか、

私達一人一人が考え、意識していく必要がある。

私は何年、何十年、何百年先の人達も笑顔でいられるそんな未来への道を選びたい。